

- 令和2年度末までに様々な取組が進められてきたが、「避難」「教育」分野の取組継続・強化が課題となっていた。
- 令和3年度は、烏・神流川流域の減災に係る取組36項目を実施している。
- 各機関における実施状況は、機関により進捗に差異はあるが、取組は着実に進捗している。

課題解決に向けた取組項目（R3年度～R7年度）

課 題	取組項目					
	連携	ハード	避難	教育	水防	排水
1.情報伝達・避難計画等に関する事項	○	●	●	●	●	
2.水防に関する事項	○	●	●		●	
3.氾濫水の排水、施設運用等に関する事項	○	●				●
4.河川管理施設の整備に関する事項	○	●				

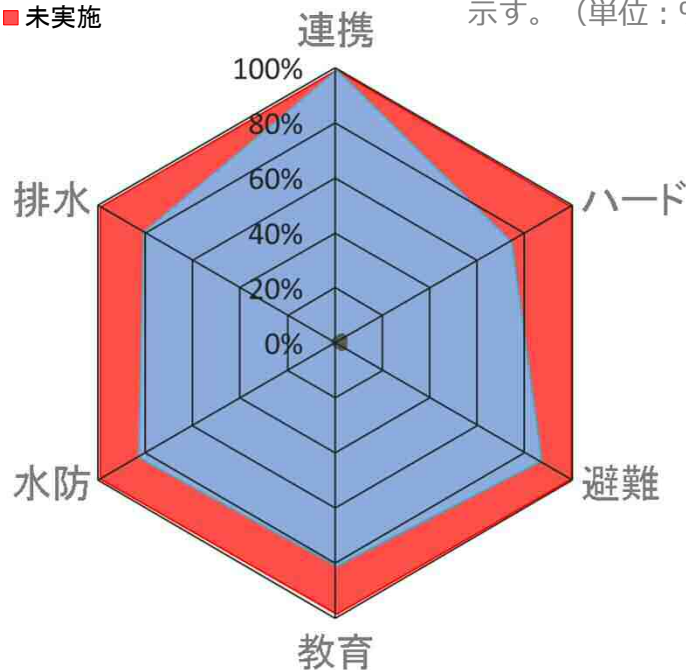
●課題解決のために位置付けられた取組。○：明確に位置付けられていないものの、課題解決に寄与する取組。

【全機関 取組実施状況】

■完了
■継続実施
■未実施

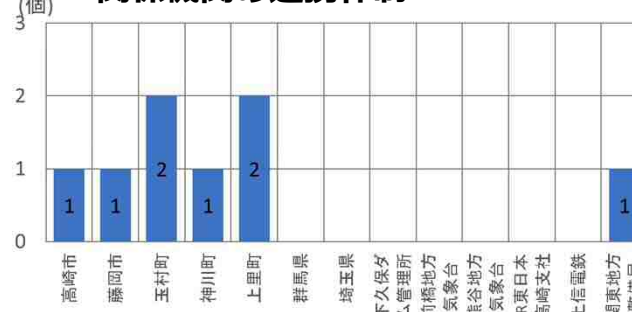
全機関

全取組個数を100%
としたときの比率を
示す。（単位：%）



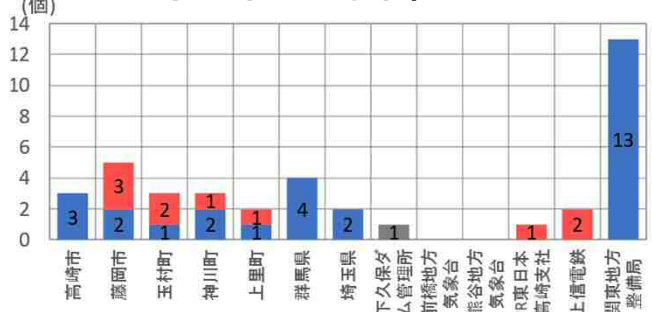
■「完了」の取組個数

■関係機関の連携体制



■「継続実施」の取組個数 ■「未実施」の取組個数

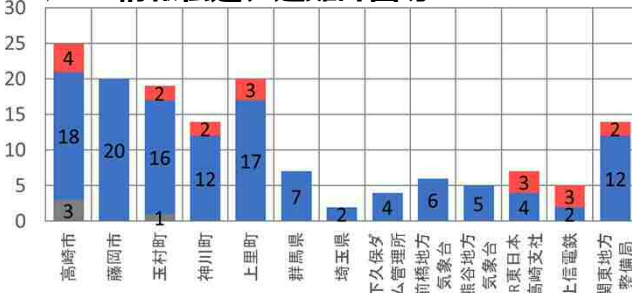
■ハード対策の主な取組



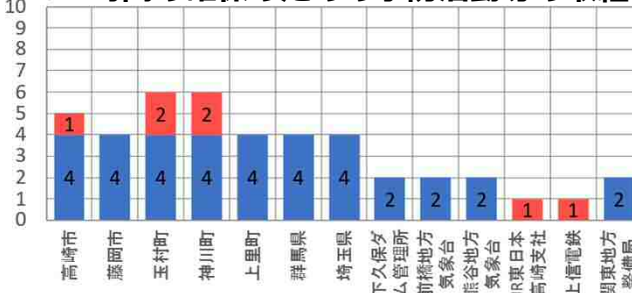
■ソフト対策の主な取組

①円滑かつ迅速な避難行動のための取組

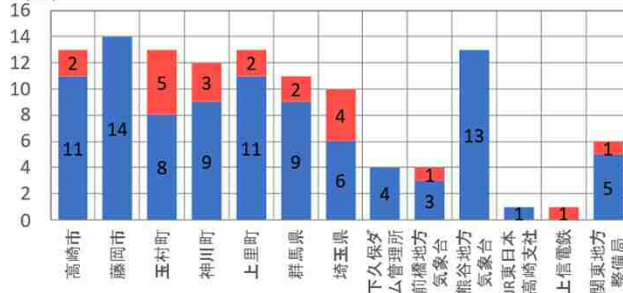
1. 情報伝達、避難計画等



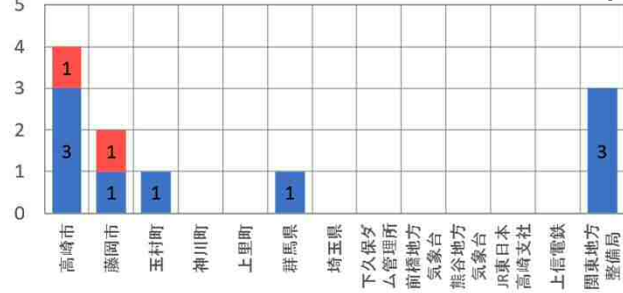
②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組



2. 平時から住民等への周知・教育・訓練



③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とする排水活動及び施設運用強化の取組



※令和3年度末時点に集計したデータをもとに本資料を作成

- R3年度は、下線で示す6項目（R3重点項目）を重点的に実施した。
- 一部の実施機関・項目は未実施であるものの、多くが継続実施中である。

■協議会構成機関が連携して取り組む重点項目（令和3年度以降 概ね5年）

※下線部は、R3重点項目

【避難支援の充実】

- ・タイムラインの精度向上
- ・広域避難計画の策定・更新
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・避難訓練の実施 【取組15】
- ・市町・自主防災組織等による要配慮者の避難支援体制の推進
- ・避難場所（避難所）改善検討（コロナ対策含む）

【水防体制の充実】

- ・洪水に対してリスクが高い区間（重要水防箇所等）の共同点検 【取組31】
- ・関係機関と連携した水防訓練（特定緊急水防活動訓練含む）の実施 【取組35】

【情報提供による自助・共助の仕組みの充実】

- ・情報伝達手段の多重化
- ・洪水ハザードマップの普及・啓発 【取組22】
- ・自治体や交通機関の施設等による水防災情報の掲示・周知 【取組28】
- ・災害リスクの現地表示の促進（まるごとまちごとハザードマップ）

【住民等への水防災意識向上】

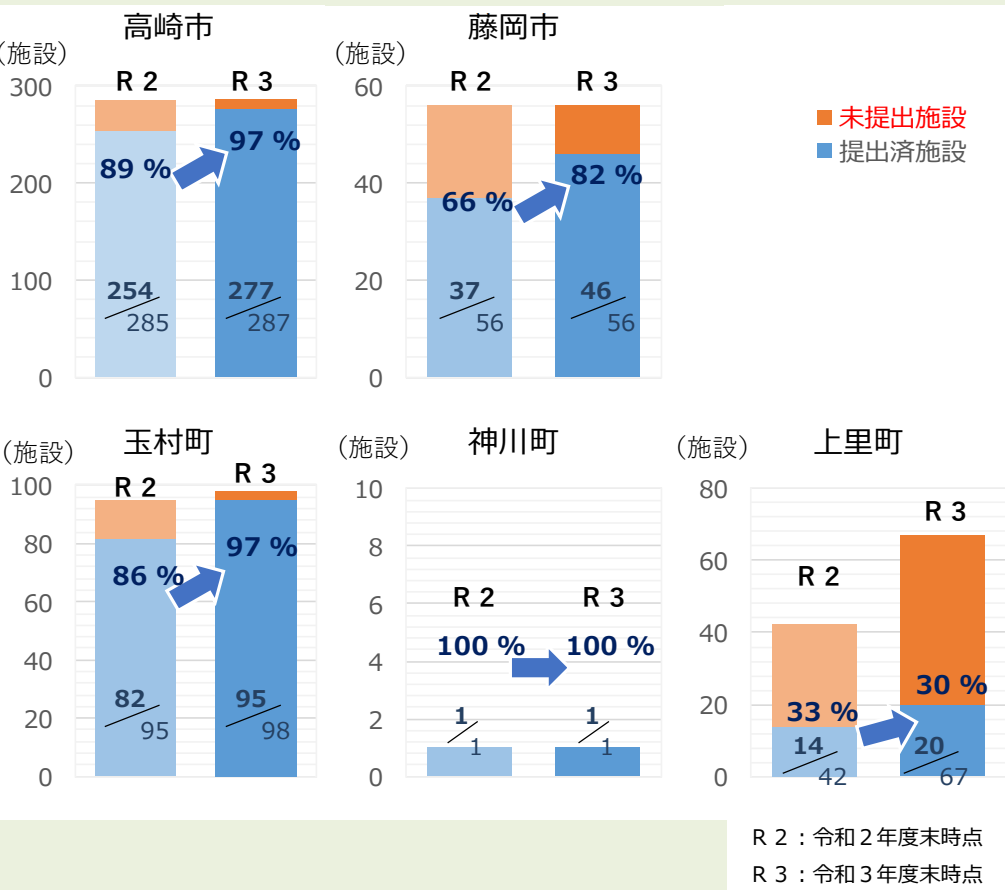
- ・住民等への説明会・出前講座等の開催 【取組26】
- ・マイ・タイムライン作成・普及啓発 【取組29】
- ・小学校での水防災授業のための指導計画書の作成支援

●情報伝達、避難計画等に関する取組

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、避難訓練の実施
【取組15】

- ・避難確保計画の作成支援や周知（高崎市、藤岡市、上里町）、自治体より施設管理者へ計画作成を依頼する（藤岡市、玉村町、上里町）等、各自治体にて実施。
- ・避難確保計画の提出は進捗している

避難確保計画の提出状況



※令和3年度末時点に集計したデータをもとに本資料を作成

●平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

防災知識の向上のための住民等への
説明会・出前講座等の開催 【取組26】



出前講座 開催状況

■埼玉県の実施状況

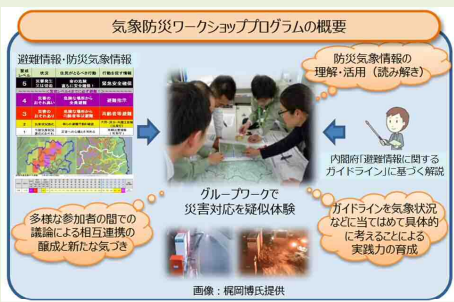
- ・出前講座「埼玉県の河川防災について」（3件実施）

■熊谷地方気象台の実施状況

- ・オンラインによる「気象防災ワークショップ」を県内市町村を対象に実施（4回実施）



オンライン開催状況



気象防災ワークショップの概要

その他の出前講座・説明会等実施状況（令和3年度）

- ・小学校や町内会等へ出前講座（高崎市 R4.2月までに7件実施）
- ・地域住民へ出前講座（藤岡市 R3.11月現在 4団体実施）
- ・自主防災組織や民生委員への防災講座（神川町 R3.11月末現在4回実施）
- ・自主防災組織、女性団体、高齢者団体への防災講習会（上里町 R3.11月末現在 6回実施）
- ・出前なんでも講座「ぐんまの防災」・「水害に備えて」（群馬県 7回）
- ・藤岡市鬼石地区区長会議にて説明（下久保ダム管理所 1回）
- ・第25回水シンポジウム2021inぐんま、烏川・神流川流域における水防災フォーラムにパネリストとして参加し説明（下久保ダム管理所）
- ・県・市町村担当者会議における説明動画の配布（熊谷地方気象台 3回（6,7,9月））

● 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

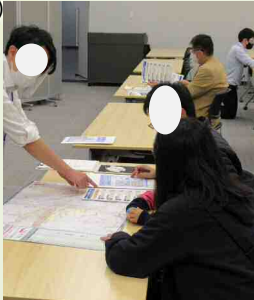
防災知識の向上のための住民等への説明会・出前講座等の開催【取組26】

「烏川・神流川流域における水防災フォーラム」を開催。水防災の知識向上のための各種催しを開催し、当日は200名を超える流域住民が参加した。

- ・開催日時: 令和3年11月3日(水・祝)開場・受付 午後1時(入場午後1時30分)開会 午後2時／閉会 午後4時30分
 - ・開催場所: Gメッセ群馬(群馬県高崎市岩押町12-24)
 - ・主催: 「烏・神流川流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」及び「烏川・神流川流域治水協議会」
 - ・後援: (一社)群馬県建設業協会、(一社)群馬県測量設計業協会、上毛新聞社、株式会社エフエム群馬、NHK前橋放送局
- 来場者数：248名（事前予約制300名）



- プログラム
- 基調講演 [群馬大学大学院 清水義彦氏]
『利根川水系の豪雨災害と治水について考える』
 - パネルディスカッション第1部
『近年の気候変動と水害の発生状況について』
 - パネルディスカッション第2部
『「烏・神流川流域の減災に係る取組方針」における取組状況と今後の流域治水の抱負について』
 - 屋内・屋外展示等
 - ✓ 減災取組パネル展示 (クイズ/シールラリー)
 - ✓ マイ・タイムライン作成会
 - ✓ 災害対策車両等 展示



水防災フォーラムの開催効果（水防災フォーラム参加者を対象としたアンケート*結果より整理）

- ① 防災意識の向上
- フォーラムに参加することによって、参加者の9割以上の方が「水(みず)防災(ぼうさい)」への意識が高まった。
- ② 水防災情報の提供・周知
- 年齢別に関心があるイベントを複数開催することができ、幅広い世代に対して情報提供、周知を行うことができた。
流域治水プロジェクトにおいては、フォーラム参加者の認知率が4割以上あり、取組を開始して間もない中で認知度が高かったと評価できる。
- ③ 要望の把握
- 今後の要望や、流域住民と関わりがある関心が高い取組など把握することができた。特に、避難場所の情報に関心が高いことがわかりました。
- * 水防災フォーラム参加者を対象としたアンケートについては、来場者人数248名に対象に配布しアンケート回収数は145枚（回収率58.5%）であった。

● 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組(つづき)

想定し得る最大規模降雨による洪水浸水想定区域に基づく、洪水ハザードマップの普及・啓発【取組22】

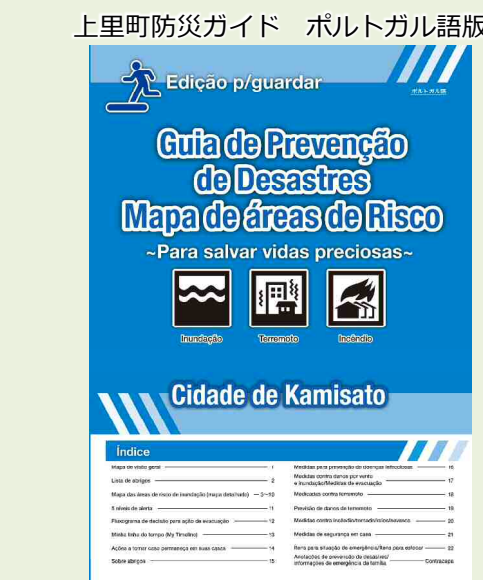
■ 藤岡市の取組

ハザードマップをHPに掲載したほか、広報誌での特集記事を掲載



■ 上里町の取組

防災ガイド・ハザードマップを作成、令和3年9月に毎戸配布、HP、広報誌で周知・啓発。
また、外国語版（英語・ポルトガル語）を作成。



■ 群馬県の取組

マイ・タイムライン作成講習会、防災教育、出前なんでも講座等によるハザードマップの周知支援を計11回実施（予定を含む）

出前なんでも講座
（高崎市箕郷地区）



■ 埼玉県の取組

- ・ 減災対策協議会を通じて洪水ハザードマップ作成促進



■ 高崎河川国道事務所の取組

「烏・神流川流域における水防災フォーラム」において「マイ・タイムライン作成講座」を開催
（令和3年11月3日 13時～16時（入退室自由））



● 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組(つづき)

関係自治体等の公共施設及び公共交通機関施設等への防災関連情報の
掲示やパンフの設置
【取組28】

■ 藤岡市の取組

各公民館（8箇所）にてハザード
マップを掲示している。



藤岡市公民館における掲示状況

■ JR東日本高崎支社の取組

JR高崎駅にポスターを掲示している。



JR高崎駅における掲示状況

■ 前橋地方気象台の取組

前橋地方合同庁舎の掲
示板及びパンフレット
置き場にポスターやリー
フレット等を設置し
ている。



前橋地方合同庁舎1階における掲示状況

■ 下久保ダム管理所の取組

「令和元年東日本（台風第19号）における下久保ダムの防災操作につ
いて」の小冊子、防災関連リーフレットの配布及び公共施設等へ設置
している。



パネル、パンフレット、リーフレット等設置状況（下久保ダム管理所）



浸水想定区域内の水害リスクのある住民等に対するマイ・タイム
ライン（避難行動計画）の作成・普及啓発
【取組29】

■ 上里町の取組

防災ガイド・ハザードマップにマイ・タ
イムラインを掲載し、毎戸配布した。ま
た、防災講習会（5回）を通して、防災
ガイド・ハザードマップ掲載のマイ・タ
イムライン作成の周知を図った。



防災ガイド・ハザードマップの毎戸配布
（『広報かみさと』と同時配布）



防災講習会（R3年10月19日）



防災講習会（R3年10月29日）

■ 高崎市の取組

阿久津町公民館にてマイ・タイムライン作成支援を実施。



マイ・タイムライン作成支援（R3年12月4日）



● 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組(つづき)

**浸水想定区域内の水害リスクのある住民等に対するマイ・タイムライン
（避難行動計画）の作成・普及啓発** **【取組29】**

■群馬県取組

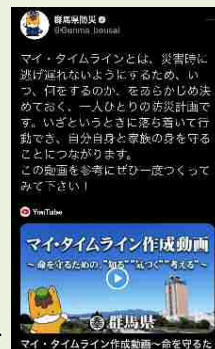
- ・マイ・タイムライン作成講習会を計6回実施（予定）
- ・群馬県HPや公式YouTubeチャンネル「tsulunots」にマイ・タイムライン作成動画を投稿、台風接近時に群馬県防災ツイッターに作成を促す投稿をする等の広報を実施している。



マイ・タイムライン作成動画



ぐんま地域防災アドバイザー
フォローアップ研修

群馬県防災
ツイッター

■ 埼玉県

災害対策基本法の改正に伴い「防災マニュアルブック（風水害・土砂災害編）」を修正した。



情報入手③ 警戒レベル

住民の方の危険性を低減して避難し避難行動をとることができるよう
 防災関係機関と避難関係機関を連携し避難場所を早期に掌握したうえで、

つづいては危険な場所から安全な場所へ

警戒レベル	1	2	3 非常事態宣言	4 4 全県避難！！	5
住民が 取ることができる 行動	災害への 認識を高め 避難行動を 確認する	避難行動を 確認する	高齢者や障害の ある方など避難 しにくい方など の避難を助ける 方が必要になる 方が避難場所 から避難する	全員が 危険な場所 から避難する	命の危険 が非常に高い 場合です！ 命を守ってください
住民に 行われる 行政手続 （指示・要請）	早期 注意喚起 （避難の 呼びかけ）	防災注意報、 大雨注意報 等	高齢者等避難	避難指示	緊急避難要請（1） 1級・2級避難指示（1） （避難一時停止の要請） （避難一時停止の要請）
発生 ・発生 ・発生	気象庁が 発表	気象庁が 発表	市町村が 発表	市町村が発表	市町村が発表

警戒レベル4・5：避難指示の発出あり

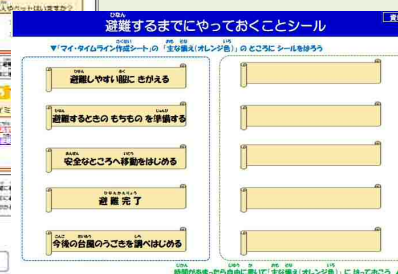
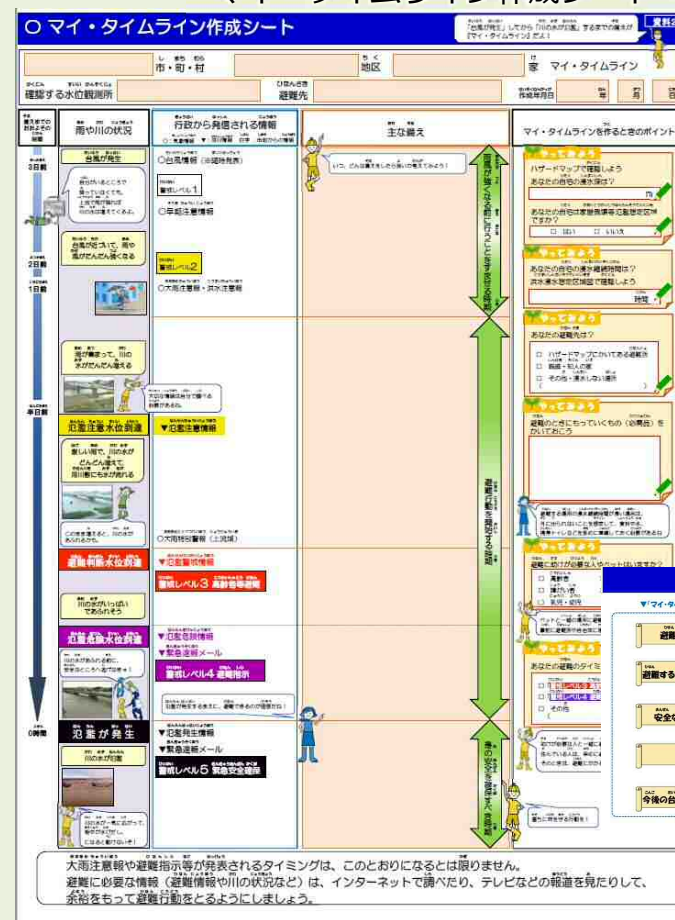
避難指示、緊急避難、警戒レベル4、
 緊急避難、緊急発表、警戒レベル5。
 これらは、〇市です。〇市にはまだ避難する
 警戒レベル4、避難指示が発令された時。

〇市が避難するそれらの安全な地区に到達しました。
 〇市が避難した時、避難する方が避難指示を受けました。
 〇市が避難するそれらの安全な地区に到達しました。
 〇市が避難するそれらの安全な地区に到達しました。

■ 高崎河川国道事務所の取組

- ・ マイ・タイムライン作成シートを製作し、高崎河川国道事務所HPにて公開（令和4年3月22日に公開済）

マイ・タイムライン作成シート（イメージ）



※シール等は対象者により異なる場合がある

● 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

自治体、地域住民、水防団等と洪水に対してリスクが高い区間
（重要水防箇所等）の共同点検を実施 【取組31】

■ 高崎河川国道事務所等による取組（直轄区間における共同点検）

令和3年度共同点検

場所：烏川・鍬川合流点付近
（藤岡市森新田地先）

参加機関：

- ・ 高崎市
 - ・ 藤岡市
 - ・ 上里町
 - ・ 神川町
 - ・ 群馬県
 - ・ 水資源機構 下久保ダム管理所
 - ・ 気象庁 前橋地方気象台
 - ・ 関東地方整備局 高崎河川国道事務所
- 計 24 名



共同点検の実施状況
（令和3年6月25日）

■ 群馬県取組（県管理区間における共同点検）

群馬県各土木事務所において、管内市町村の防災・土木担当および
地域住民の代表者（町内会長等）と重要水防箇所の合同点検を実施

令和3年度共同点検の参加機関

- ・ 高崎土木事務所管内
： 4 機関 計 12 名
- ・ 伊勢崎土木事務所管内
： 5 機関 計 10 名
- ・ 藤岡土木事務所管内
： 3 機関 計 5 名



伊勢崎土木管内での実施状況
（玉村町上福島地先）

● 排水活動及び施設運用の強化に関する取組

【取組35】

■ 高崎市の取組

高崎市保有の排水ポンプ車操作
訓練を実施



■ 群馬県の取組

排水ポンプ車運用マニュアルに基づくポンプ車等による排水実動訓
練を実施（4事務所/5台）《参加機関：高崎市》



高崎地域部会の訓練
（R3.7）



伊勢崎地域部会の訓練
（R3.6）

■ 関東地方整備局取組

排水作業準備計画に基づく、ポンプ車等による排水実働訓練（国交
省関東地整高崎河川国道事務所主催）
氾濫ブロックBにおいて、排水ポンプ車の現地活動時の手順やホース
等の設置確認、進入ルートの課題確認などの実働訓練を行った。
（参加機関：群馬県、高崎市、藤岡市、玉村町、上里町）



R3実施状況《高崎市・新町；烏川右岸3.6k付近》（R3.8.3）